

情報通信審議会 情報通信技術分科会  
IP ネットワーク設備委員会（第 33 回）  
議事要旨

1 開催期間

平成 29 年 7 月 4 日（火）～平成 29 年 7 月 7 日（金）

2 開催方法

書面による開催

3 参加者（敬称略）

委員会構成員

相田 仁（主査）、有木 節二、内田 真人、江崎 浩、大矢 浩、尾形 わかは、  
岡野 直樹、片山 泰祥、佐藤 和彦、前田 洋一、向山 友也、村山 優子、  
森川 博之、矢入 郁子、矢守 恭子、渡辺 武経

4 議事

IP ネットワーク設備委員会報告書（案）について

平成 29 年 7 月 4 日（火）から平成 29 年 7 月 6 日（木）までの期間、IP ネットワーク設備委員会報告書（案）について、提出された意見を踏まえた検討を行い、平成 29 年 7 月 7 日（金）に、案のとおり報告書を決定するとともに、その内容を情報通信技術分科会に報告することを決定した。また、提出された意見に対する考え方を案のとおり決定した。検討に際しての主な発言は次のとおり。

○第 5 章「今後の検討課題」に「今後、仮にこれらの前提が変更され、IP 網への移行後の電話サービスの信頼性や品質の確保等に支障が生じ得る場合には、その適切な水準の維持のため、本報告書に取りまとめた検討の経緯も踏まえ、IP ネットワーク設備委員会において所要の追加的な検討を行うことが適当である」旨を追記したことは、今回のパブリックコメントの結果をみても妥当であったことが確認出来た。

以上